

◆13回忌特別企画◆

# 若本俊雄遺作展

夭折の写真家 ～生命の叫び～



平成15年11月3日月～11月14日金  
町立塩江美術館 / 企画展示室&ホール



開館時間：午前9:00～午後5:00  
(但し、入館は午後4:30迄)(尚、最終日は午後3:00迄)

入館料：大人300円／高大生150円／中学生以下無料  
(常設展料金含む)(団体は、20名以上2割引)

休館日：月曜日／11月4日休館

主催：町立塩江美術館  
協賛：塩江温泉アートベンチャーマフソン実行委員会事務局  
協力：本誌一子

■町立塩江美術館■  
〒781-1611  
香川県香川郡塩江町大字安原上602番地  
TEL (087) 893-1800  
FAX (087) 893-1833  
■駐車場13ヶ所(無料) 200台あり  
■バス13ヶ所(無料) 200台あり  
■町立塩江美術館



# 若本俊雄遺作展

平成15年11月3日(土)～11月14日(日)



わかもと としお  
若本俊雄



- 1966年 9月22日 兵庫県尼崎市に生れる。  
12歳の誕生日にプレゼントされたカメラに夢中になり野生動物の写真家・岩倉光昭氏、久保敬雄氏らに指導を受けるようになる。
- 1967年 3月 大阪写真専門学校卒業。  
4月 短期新聞大阪本社契約カメラマンとして入社。高校野球、F1グランプリ等を取材。感動あふれる報道写真を多く残す。
- 1967年～'91年 白鳥の撮影のため毎年2～3ヵ月、新潟、信濃代岡へ取材に出かけ、3万枚余の白鳥の写真と撮影。
- 1991年 4月16日 癌のため24歳で死去。
- 1992年 4月 大阪梅田キャン・サロンにて遺作展。  
1993年12月 第1写真集「白鳥・生命の賛歌」芸術堂(絶版)  
1996年 4月 第2写真集「白鳥」(消費出版)  
1999年 5月 第3写真集「Swan Song」小学館出版



## ごあいさつ

このたび若本俊雄遺作展をこの地で開催し皆様方に紹介できることをうれしく感じております。

今から12年前、癌という病魔と戦いながら日本に飛来する白鳥と自然に魅せられ、最後までシャッターを押し続けて3万枚余りの写真を残して逝った写真家若本俊雄。

今展覧会では、故若本俊雄が残した遺品、そして色あせず今なお心揺さぶられ感動を与えつづける作品の数々をご紹介します。

皆様方には、この機会に是非ご来館いただき生命の尊さや自然との共存そしてはとばしる情熱を感じ取っていただければ幸いです。

最後になりましたが、今展覧会開催するにあたり、ご協力いただきました関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

主催者



## 今展開催にあたり

木谷一子

このたび町立塩江美術館で、「若本俊雄遺作展」を開催させていただけるご縁を得ることが出来まして心よりお礼申し上げます。

息子は、平成3年4月16日他界、1周忌に大阪梅田キャン・サロンで第1回写真展を開催し、今回で19回目にあります。

塩江町は、「ホテルと文化の里」をキャッチフレーズにした深い自然に囲まれた町で、近くには山や滝があり心身ともに癒される町です。亡き息子も幼少の頃は和歌山県の自然の素晴らしさを感じながら育ちました。

息子の写真は、白鳥と美しい自然が融合した作品です。息子はきっとこの素晴らしい塩江町の自然環境の温存を願い、白鳥の写真を通して自然保護の意識を皆様に高めていただくため、塩江町にご縁を結んだのではないかと思います。

息子は、五年間の撮影中、信濃代岡周辺の環境破壊に気づき、白鳥の生息地を守るためカメラマンの立場で訴えようと考え、余命1年と告知されても動ずることなく白鳥たちにシャッターを向け切りつづけたのだと思います。息子の作品は、生と死の間での感性と無敵の世界の作品なのだと思います。

人それぞれ運命や使命があると思います。この世に生を受けている長さではなく、どう生きるかにあると思います。ご来館の皆様には今展をご覧くださり何かを感じていただければ幸甚に存じます。

